

サービス

メンテナンスにあたってのご注意



WABCO

サービス

メンテナンスにあたってのご注意

発行版 1

本印刷物は文書管理システムの対象外となっています。
最新版は以下の INFORM の欄でご入手いただけます
www.wabco-auto.com

© 2007

WABCO

表記の内容を予告なく変更することがあります。

バージョン 1/08.2007(ja)

815 180 140 3

1 一般的なご注意	5
1.1 ブレーキ装置および制御エレクトロニクス	5
1.2 ホイールブレーキ	5
1.3 その他の情報	5
1.4 WABCO サービスセンターと認定修理工場	6
2 メンテナンスにあたってのご注意	6
2.1 走行開始前に	6
2.2 走行開始後に	7
2.3 週毎のメンテナンス	8
2.4 3ヶ月毎のメンテナンス	8
2.5 ホイールブレーキ	8

1 一般的なご注意

本文書は、WABCO システムを装備した車両を取り扱う運送会社またはドライバーの皆様のために作成されたものであり、装備中の WABCO 製品について車両の取扱説明書を補完するためのものです。

内容が不明確な場合には、車両メーカーが発行した取扱説明書の内容を優先させていただきます。



注意 負傷および事故の危険

- 車両上の安全システム(ブレーキシステムなど)の修理作業は、自動車修理工場の相応の訓練を受けたスタッフにのみ行なわせてください。

車両の検査は各国に定められた法規に従って実施してください。これらの法規は必ず遵守してください。

1.1 ブレーキ装置および制御エレクトロニクス

通常、ブレーキ装置および制御エレクトロニクス機構はメンテナンスフリーであり、 -40°C ~ $+80^{\circ}\text{C}$ の温度領域で使用することができます。個々の製品についての詳細情報は以下のページに記載されています。

制御エレクトロニクス機構の中ではシステム全体をチェックする監視処理が常時行なわれています。エラーが発生した場合、ダッシュボード上に警告灯が点灯することによりドライバーに知らされます。機器やシステムの機能に疑いがある場合には、修理工場へ診断を依頼してください。制御エレクトロニクス機構は分解しないでください！

1.2 ホイールブレーキ

ブレーキパッドやブレーキディスクは走行方法や走行量に依存して摩耗します。摩耗状態のチェックやサービスの間隔は必ず守り、必要に応じて摩耗した部品を交換してください。

ブレーキパッドの摩耗インジケータの使用により、摩耗限界に達した際にダッシュボード上で信号を表示させることができますようになります。摩耗センサーの使用により、摩耗状況を常時表示させることができますようになります。摩耗限界に達した場合には修理工場に交換させてください。

ホイールブレーキに関するその他の注意事項は「メンテナンスにあたってのご注意」の章に記載されています。

1.3 その他の情報

個々の製品についての詳細情報は、製品上の銘板に記載された部品番号をもとに入手することができます。

www.wabco-auto.com では、弊社の製品カタログ INFORM にアクセスできます。同カタログにはデータシート、見積図面、その他の発行資料が全て含まれています。

www.wabco-auto.com/worldwide では、WABCO のパートナー企業、代理店、修理工場の連絡先をご覧いただけます。

1.4 WABCO サービスセンターと認定修理工場

ブレーキ装置の検査時に何らかの問題が生じましたら、弊社の認定修理工場までご相談ください。

WABCO サービスセンターと認定修理工場では純正部品のみを使用しています。これにより、確かな修理サービスのご提供を可能としています。

2 メンテナンスにあたってのご注意

2.1 走行開始前に

手動補充式コンプレッサー

手動補充式コンプレッサーのオイルレベルを確認してください。オイルレベルは計測棒のマーキング間に来ることが必要です。補充の際には、エンジンで使用しているものと同じオイルを使用してください。コンプレッサーにおけるオイル交換はエンジンオイル交換と同時に行ってください。

タンクの積載後、コンプレッサーの負荷運転が終了する必要があります(音が聞こえなくなります)。

圧力コントローラー

圧力コントローラーの動作を観察してください。スイッチオフ圧力とスイッチオン圧力を確認してください。圧力コントローラーから排気音が聞こえるとスイッチオフ圧力に達したことがわかります。スイッチオン圧力に達すると圧力コントローラーのエア抜きバルブが閉じます。エアタンクへの注入中、警告圧力装置の機能を確認してください。

空気乾燥装置

通常の運転状況下で使用する場合、市販のカートリッジ、WABCO エアシステムプロテクター、コアレスフィルター付きドライヤーカートリッジは2年毎に交換してください。WABCO パートナーでは使用済みカートリッジの回収を受け付けています。

凍結防止装置

タンク内の凍結防止剤の量を確認し、必要に応じて補充してください。補充時にはWABCO 凍結防止剤をご使用ください。凍結時または凍結の恐れがある場合には、凍結防止装置を運転できる状態(冬季設定)にしてください。ブレーキ装置に空気乾燥装置が装備されている場合には、この作業は不要です。

エアタンク

車両に手動水抜きバルブが装備されている場合、結露が多く生じるようであれば、(特に冬季、温度7°C以下)定期的に水抜きを行う必要があります。ブレーキ装置に自動水抜きバルブが装備されている場合には、この作業は不要です。

カップリングヘッド

カップリングヘッドが連結されていない場合、カバーを回してこれを閉じる必要があります。

牽引車を連結する場合には、カップリングヘッドのシーリングリングが正常な状態であるか、ブレーキ装置に汚れが付着していないかを事前に確認してください。

ブレーキ出力コントローラー

農業用車両や旧式車両の場合、手動ブレーキ出力コントローラーが多く組み込まれています。この場合、牽引車量の負荷状態に合わせてブレーキ出力コントローラーのレバーを調整する必要があります。

車両上に負荷依存型の自動ブレーキ出力コントローラーが装備されている場合、車両の負荷・不負荷状態に合わせて自動的に調整されます。リーフ式サスペンション仕様の車両の場合、調整バルブの調整軸がスムーズに動くか、リンケージ部が破損していないかに注意してください。

アンチブロッキングシステム(ABS)

牽引車両の電子制御ユニットの電源供給用として、リンケージ部に 24 N コネクターおよび ABS コネクター (ISO 7638) を差し込む必要があります。車両には通常、機能認識・システム監視用として最大 3 個までの警告ランプまたは情報ランプが装備されています。

2.2 走行開始後に

エアタンク内のリザーバ圧力が十分にある状態でのみ走行を開始してください。走行中にリザーバ圧力の不足を知らせる警告灯が点灯する場合、エア供給に異常があるか、漏れが発生しています。この際、直ちに注意が必要です。

注意



圧縮エア供給に異常が発生している場合には、残り数回しか正しくブレーキできません。スプリングブレーキシリンダーが車両に急激にブレーキをかけることができます。

- 交通状況に注意しながら適切な場所で車両を停止させてください。
アイドリング回転数を上げてモリザーバ圧力が上がらない場合には、車両の空気搬送または漏れを点検し、必要に応じて修理する必要があります。この間、リザーバ圧力が十分でない場合には、車両の走行をお避けください！

フットブレーキ、ハンドブレーキおよび継続ブレーキの作用は、路面状況や交通状況に関わらずチェックしてください。この際、車両のブレーキバルブの動作に注意を払ってください。

車両に ABS または EBS が装備されている場合、イグニッションロックを起動すると警告灯が点灯します。システムの安全回路が何のエラーも検知しなかった場合、車両速度が 7 km/h を超えた時点でこの警告灯は消えます。警告灯が消えない場合、または走行中に点灯が続く場合、システム上でエラーが発生しています。

牽引車の ABS コネクターが差し込まれていない場合、ダッシュボード上の情報灯が常時点灯します。つまり、牽引者の ABS または EBS が作動していません。トレーラー EBS の場合、牽引車両の負荷状況へのブレーキ力適合機能もなくなります。このため、個々のホイールでブロッキングが発生する傾向が高くなります。

警告



車両や牽引車における ABS または EBS のエラーは、ブレーキ挙動に影響を与え、車両または牽引車両の交通安全性を悪化させます。

⇒ 滑りやすい路面の場合、ホイールがブロックする可能性があります。この場合、車両のハンドル操縦は困難となり、ハンドルを強くきると車両のバランスが失われることがあります。

- このため、特に慎重に走行を行ってください！
- 直ちに専門修理工場でエラーの解除を行わせてください。

2.3 週毎のメンテナンス

エンジンが停止し、リザーバ圧力が圧力コントローラーのスイッチオフ圧力に一致する場合、ブレーキペダルを踏み、固定してください。この状態で圧縮エアブレーキ装置の点検を行ってください。ここで漏れが判明しないことが必要です。ブレーキシリンダーのストロークがストローク全体の半分に達する場合、ホイールブレーキの再調整が必要です。防塵ベローズの状態と座りに異常がないことが必要です。

2.4 3ヶ月毎のメンテナンス

コンプレッサーの吸引フィルター

コンプレッサーがエンジンのエアフィルターに接続されていない場合、コンプレッサーの吸引フィルターを洗浄用ベンジンで洗浄し、乾燥させてからここにエンジンオイルを塗布してください。油槽式エアフィルターの場合、フィルターに汚泥が付着しはじめた時点で洗浄用ベンジンで洗い、オイルを交換してください(エンジンオイル使用)。古くなったオイルは環境保護規制に従って処分してください。

フィルター

圧力コントローラー内のフィルター、ラインフィルター、カップリングヘッドに搭載されたフィルターを開き、洗浄用ベンジンで洗浄し、乾燥させてください。組立後、漏れがないかを確認してください。

ロッドおよびジョイント

ブレーキシリンダーのフォークジョイントやブレーキロッドには少量のオイルを塗布してください。

2.5 ホイールブレーキ



警告

ブレーキパッド、ブレーキホース、摩擦面上のグリースおよびオイル

⇒ ブレーキの故障により事故が発生する恐れがあります

- ブレーキパッド、ブレーキホース、摩擦面にはグリースやオイルが付着しないようにしてください。

ブレーキパッドの交換

ブレーキパッドの許容摩耗量に注意し、常時点検してください。摩耗したり、焼きついたり、ガラス化したり、オイルの付着したブレーキパッドは修理工場で交換させてください！この際、一本の車軸上のブレーキ両方のパッドを交換することが必要です。WABCO または車両メーカーが該当車両向けに許可しているブレーキパッドのみを使用してください。

ブレーキディスクまたはブレーキドラムの交換

ブレーキディスクまたはブレーキドラムが破損または摩耗していないかを定期的に点検してください。許容摩耗量を超えないようにしてください。

その他のブレーキ部品

押しバネ、引きバネ、シーリングリング、保護キャップ、ベローズはそれぞれ2年ごとに交換してください。基本的に、WABCO または車両メーカーが許可している交換パーツのみを使用してください。

ブレーキパッドの使用開始にあたって

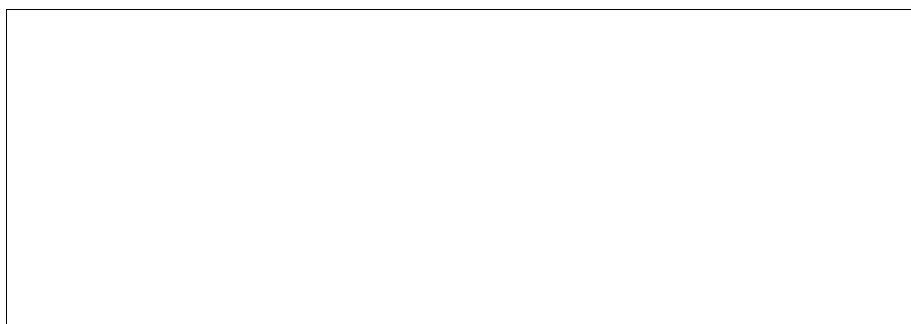
新品のブレーキパッドが理想的なブレーキ効果を発揮するためには、慣らし運転が必要です。この慣らし運転は低速または中速で走る車両に間欠的にブレーキをかけることで行います。

- ！ 慣らし運転中は、長時間にわたってブレーキを継続的にかけたり、高速走行中に強度のブレーキをかけたりしないようにしてください。



WABCO Vehicle Control Systems (NYSE: WBC) は世界をリードする商用車向け安全・制御システムメーカーです。WABCO では 140 年以上にもわたり、大型商用車向けブレーキシステム、スタビリティシステム、サスペンションシステム、自動駆

動システム等用として 電子・メカニック・メカトロニック技術の開発を行っています。WABCO はベルギー・ブリュッセルに本社を置きながら、世界有数のトラック、牽引車両、バス車両メーカーの皆様とお取引しています。 www.wabco-auto.com



WABCO